第 1381 号

READAS
リーダァスクラブ

１９９４年１月６日創刊・毎日発行

リーダァスクラブＦＡＸニュース

(1999年) 平成11年 8月19日 木曜日

発行所 株式会社 FPシミュレーション
大阪市中央区平野町３－１－１０ Tel :06-6209-7678
編集発行人：税理士 三輪 厚二 Fax:06-6209-8145

♤ キャッシュフロー計算書が重視されるワケ

Q：最近、キャッシュフロー計算書が重視されるようになっていますが、どうしてでしょうか。

A：経営活動を円滑に行っていくには、キャッシュフローの管理を十分に行うことが不可欠となっているからです。

【解説】

今日の企業会計では、企業がどれほど利益を稼いだのか、また、含み資産をどれほど保有しているのかが重要視されています。

しかし、利益のみが必要な情報ではありません。損益計算書上では黒字でも、支出が収入を上回れば資金不足を起こします。会社は、赤字であってもすぐには倒産しませんが、資金が不足するとすぐに倒産してしまいます。こういったことで、資金に関する情報は非常に重要なのです。

当期と前期の貸借対照表を比較すれば、現金預金がどれだけ増減したかはわかりますが、その原因はわかりませんし、損益計算書には利益が計上されていますが、利益とキャッシュは必ずしも一致しませんから、こちらもその原因はわかりません。こうした資金の増減およびその原因をキャッシュフロー計算書が解明してくれるわけです。

資金の増減が何によってもたらされたのかを知ることは経営者にとって非常に重要です。まずは、キャッシュの流れを知り、これを経営に生かす、この指標となるのがキャッシュフロー計算書ということです。